

患者の皆様へ

2018 年 1 月 4 日

千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「胆道疾患症例の後ろ向き解析による診断および予後因子の解明に向けた研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2002 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院で手術を行った胆道疾患の患者様および手術前後に内視鏡や経皮的な胆道ドレナージなどの検査、治療を行った患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「胆道疾患症例の後ろ向き解析による診断および予後因子の解明に向けた研究」

2. 研究の意義・目的 胆道疾患手術およびそれに前後する各種検査・治療の診断、治療効果、予後に関係する項目は何であるかを、これまで当院にて手術・治療をされた患者さんの情報より解明します。これにより、早期診断や胆道疾患手術後の術後経過や生存期間を改善する方法を解明し、将来の患者さんの治療成績をより向上させることに応用します。

3. 研究の方法 2002 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院において胆道疾患（胆管、胆嚢腫瘍、胆嚢結石、その他胆道の病気を含む）に対して手術を行った患者様および治療を行われた患者様の術前検査、手術方法、切除した標本、手術後の経過などを調べ、それぞれの治療法、関連項目別に診断率、治療効果、生存期間などがどうであったかを調べます。そして、どのような項目が診断や手術適応、手術後の治療成績に最も関連していたかを調査します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる部屋に置かれたコンピューター内にパスワードを書けて保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。また、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

医師 大塚将之、高屋敷 吏

043(222)7171 内線 5282 (臓器制御外科学 医局)